

無秩序開発 ゾウなど被害

伐採進むボルネオの森

熱帯雨林の伐採で生物多様性が失われつつあるマレーシア・サバ州で、野生生物の管理に携わる同州野生生物局のローレンシヤス・N・アンブ局長が、2月9日に開かれる「ボルネオ生物多様性保全・東京セミナー」に「ボルネオ保全トラストジャパン」(BCTJ、坪内俊憲理事長)主催で、現地の実情と今後の方向性について講演する。野生生物局の最高責任者が来日するのは初めて。

【斉藤三奈子】

初来日 2月9日渋谷で



アンブ局長

野生生物局は89年に森林局から独立。アブラヤシ農園の無秩序な開発による熱帯雨林の森林伐採が進むカリマンタン(ボルネオ島)のサバ州で人と野生生物の

共生に向けた取り組みを進めている。

BCTJなどによると、08年には州内の約18%がアブラヤシ農園を占めるほどに開発が進み、果てはランウータンやゾウなどの生息地は分断化され、絶滅が心配されている。また、人と生活圏が重なることで農業被害などが生じてい

マレーシア 州野生生物局長講演



る。このため野生生物局は、農家の保護と野生動物の個体数減少や遺伝子の多様性消失を防ぐため保護区、保存林を整備。また、ワナで足が裂けた子ゾウの治療や野生生物の違法取引の取り

締まりにあたっている。さらに野生に復帰させるためにオランウータンのリハビリセンターも運営している。

ローレンシヤス局長は「同じ地球に生きるものとして、日本人もボルネオの価値を認識し、生物多様性保全に関心をもち、次世代のために再生可能な資源活用に向けて協力していきたい」と話している。

セミナーは午後6時半から、環境パートナーシップオフィス(渋谷区神宮前5)で。参加費500円、日英



人が仕掛けたわなで足が裂けた子ゾウ(左)アブラヤシ農園の開発が進むボルネオの熱帯雨林—ボルネオ保全トラストジャパン提供

で。参加費500円、日英語同時通訳あり。申し込みはBCTJにメール(info@bctj.jp)か、ファクス03・3471・4966)で。(氏名、ふりがな、所属、Eメールアドレス、連絡先を明記)。